

増南五味子ニ葉甚ダ薄クシテ、小白斑アリテ霜ノカ、リタル如クナル者アリ、冬ニ至テ紅葉シテ美ナリ、故ニ花戸ニテニシキカヅヲト呼ブ、又一種尋常ノ者ニシテ、葉ニ白斑アル者アリ、又南五味子ノ莖ヲ切テ水ニ浸ス時ハ粘汁出ヅ、コレヲ以テ束髪ノ用ニ供スレバ膩垢ノ患ナク、且ツ髪ヲ長ス、

〔草木育種_下品〕五味子_草本 武藏下野、甲斐等の山中にあり、_中南五味子はさねかづらと云、下品にして薬に入ず、山の陰地に植べし、蔓太なれば肥に及ばず、初は酒粕人糞等を用べし、蔓をたわめて土をかけ置ば根を生ず、是を切て分植べし、

〔宜禁本草_乾中草〕五味子 酸温、_{皮肉}甘酸、_核中辛苦、都紅熟時蒸爛研取汁去實、熬成稀膏、量酸甘入蜜再上火待蜜熟後冷器中貯作湯、肺虛寒人可化作湯、時々服作果可以寄遠、

〔延喜式_{三十七}典藥〕遣諸蕃使

唐使_略中 草藥五十九種、_略中 五味子_略中 僕奈各四斤、新羅使_略中 草藥廿四種、_略中 僕奈、五味子各五升、

諸國進年料雜藥

美濃國六十二種、_略中 五味子三斗三升、安藝國卅二種、_略中 五味子三升、

〔古事記_中應神〕爾大雀命_仁聞其兄備兵_略中 既如王子_和紀_能之子_能之坐所而更爲其兄王渡河之時具

飾船楫者春佐那_{此二字以音}葛之根取其汁滑而塗其船中簀椅設踏應仆_略下

〔出雲風土記_意字郡〕凡諸山野所在草木、_略中 五味子、

〔萬葉集_相二内大臣藤原卿報贈鏡王女歌一首

玉匣將見圓山乃狹名葛佐不寐者遂爾有勝麻之目、

〔萬葉集_古十一相聞往來歌〕寄物陳思